

会社概要・株式の状況 (2020年9月30日現在)

商号	フィンテック グローバル株式会社
設立	1994年12月7日
資本金	64億6,206万2,937円
連結従業員数	156名(臨時従業員は含まず)
連結子会社数	18社
発行済株式の総数	201,114,600株
単元株式数	100株
株主数	31,358名

役員 (2020年12月22日現在)

代表取締役社長	玉井 信光
取締役副社長	鷲本 晴吾
取締役	千田 高
	吉岡 尚子
社外取締役	川崎 史顕 (常勤監査等委員)
	太田 健一 (監査等委員)
	鈴木 健次郎 (監査等委員)
	大山 亨 (監査等委員)

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	12月
基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場(証券コード：8789)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://www.fgi.co.jp/ir/download/
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

フィンテック グローバル株式会社

金融商品取引業(投資助言・代理業)
登録番号：関東財務局長(金商)第1469号

<http://www.fgi.co.jp/>

本社 〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号
目黒セントラルスクエア15F
Tel. 050-5864-3978
Fax. 03-6456-4601



FGI

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

フィンテック グローバル株式会社

証券コード：8789

第 26 期
事業報告書
2019.10.1～2020.9.30

投資銀行事業では、社会ニーズを的確にとらえた投資とアレンジメントにより、エンタテインメント・サービス事業では、ブランディング施策によるムーミン市場の拡大により、それぞれ収益を拡大し、黒字転換を図ります。

当社グループは、企業を支援するプライベート型投資銀行として、投資銀行業務と企業投資を両輪とする投資銀行事業を展開しています。

2020年9月期は、メッツァにおいては顧客満足度を高める施策効果により来園者数が増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年3月から6月にムーミンバレーパークを80日間臨時休園することを余儀なくされ、営業再開後も来園者数がコロナ禍前の水準を下回って推移したことで減収となる一方で、ライセンス事業はムーミンのブランド価値が高まったことで商材等の取り扱いが増加し増収となりました。本業の投資銀行事業は、事業承継等のニーズの高まりを背景に、プライベートエクイティ投資の取り組みが進み、これに伴う投資回収や業務受託、仲介等の売上高が増加しました。また、航空機アセットマネジメントは非稼働機体管理受託が増加傾向となるなど、堅調に推移しました。しかしながら、投資回収については投資先企業のIPO延期等により、遅れが生じました。

以上の結果、当期の売上高は前期比25.4%減の6,841百万円、売上総利益は前期比21.4%減の2,313百万円となりました。販売費及び一般管理費は人件費等のコスト圧縮とともに、前期のメッツァ開業準備費用等がなくなり、前期比28.3%減の3,306百万円となった結果、営業損失は前期比671百万円改善し992百万円の営業損失となりました。なお、期末配当については、誠に遺憾ではございますが、見送りとさせていただくこととしました。

2021年9月期は、投資銀行事業において、事業継承等のニーズに対応したプライベートエクイティ投資を強化してまいります。当該投資のエグジットやアセットマネジメント等の業務受託による収益が、連結業績を牽引することにより、黒字転換を見込んでいます。また、地域の社会的課題の解決に寄与するためのプロジェクトマネジメントやファイナンスアレンジも積極的に推進し、地方創生に貢献してまいります。公共コンサルティング事業では公会計事業において大規模自治体を軸にした営業活動を展開し、新規受託を拡大してまいります。エンタテインメント・サービス事業は、メッツァにおいてコロナ禍の影響が続くことを想定して2020年9月期よりコスト削減による収支均衡策を実行していますが、これを継続する一方で、ムーミンのブランディング施策を強化し、国内市場の拡大によって、セグメント損益の黒字化を図っていく所存です。

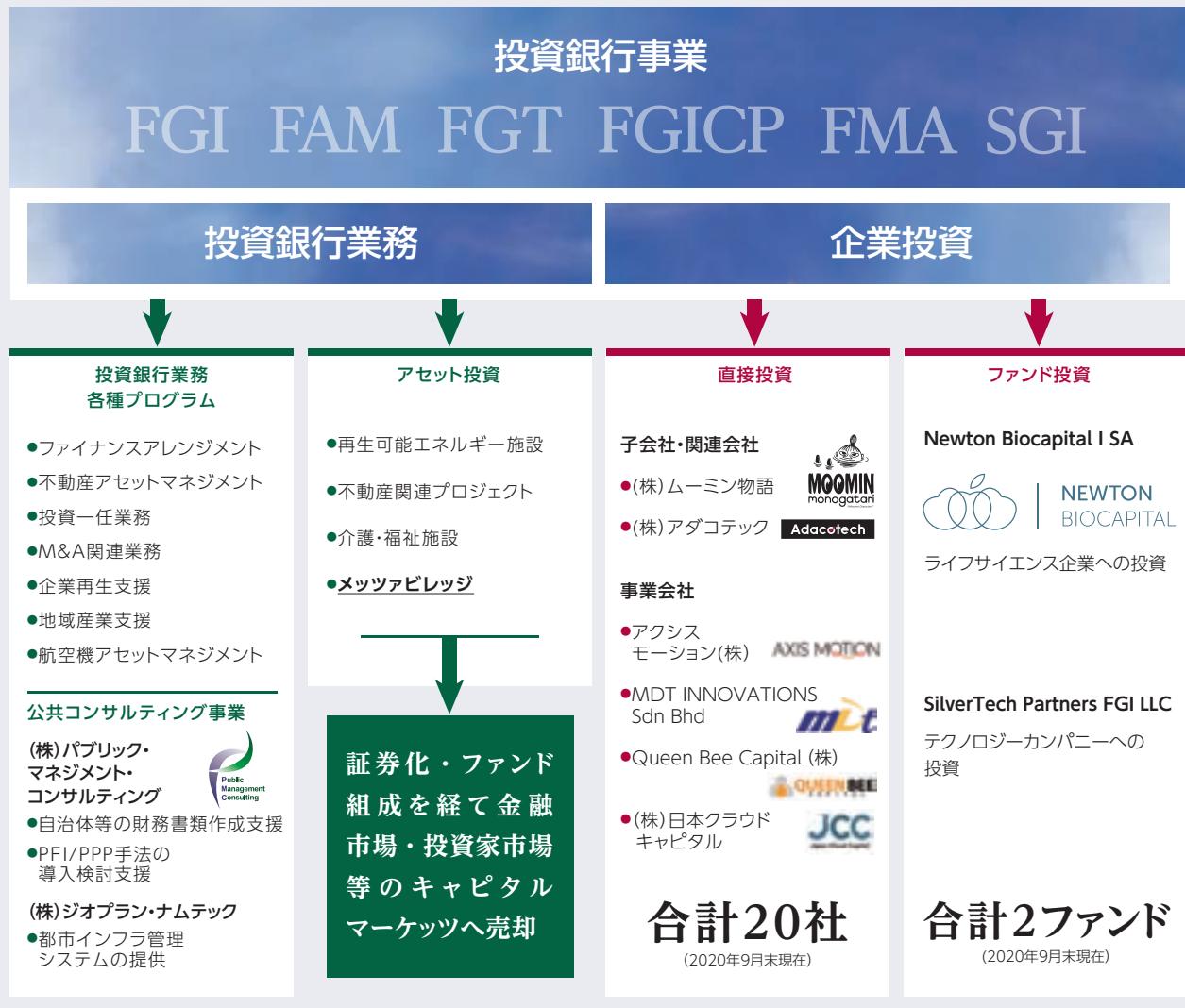
株主の皆様、そして社会の期待と信頼に応えられるよう、役職員一同、鋭意努力を重ねてまいります。何卒一層のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2020年12月
代表取締役社長

玉井 信光



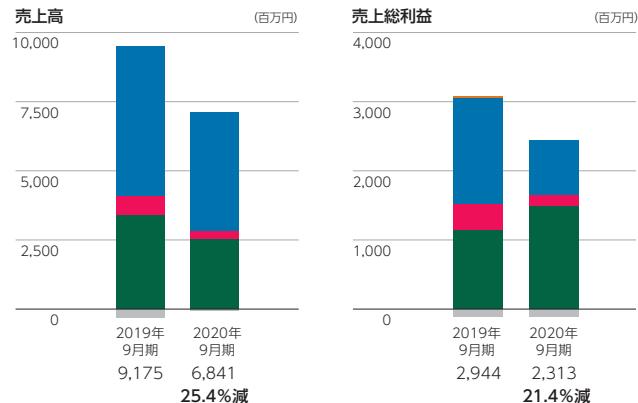
投資銀行業務と企業投資の両輪で企業の成長、地域社会の発展を支援することで社会に必要とされるサステイナブルな企業を目指します。



2020年9月期 連結業績ハイライト

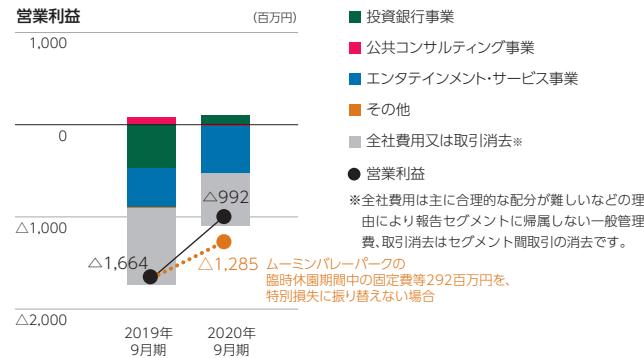
(単位:百万円)	2019年9月期	2020年9月期	前期比
売上高	9,175	6,841	△2,333
売上総利益	2,944	2,313	△631
営業利益	△1,664	△992	+671
経常利益	△1,850	△1,135	+715
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,586	△1,186	+400
償却前営業利益	△935	△264	+671

●償却前営業利益=営業利益+原価・販管費に含まれる減価償却費及びのれん償却費



(注) セグメント別内訳は、他のセグメントとの取引を消去しない数値を使用。

- コロナ禍により、ムーミンバレーパーク臨時休園と投資銀行事業における投資回収の遅れが生じ、減収。
- 販管費は1,303百万円(28%)減少し、営業損益が改善。
- ムーミンバレーパーク休園中の固定費等292百万円を特別損失に計上。



2021年9月期 連結業績予想

投資とアレンジメントが成長ドライバーとなり、売上高が増加、黒字転換。

メッツァでは、コロナ禍対応のため収支均衡策を継続するが、ライセンス事業において、ブランド価値向上によるムーミンの商材等の取扱いが増えて増収。エンタテインメント・サービス事業も黒字化。

(単位:百万円)	2020年9月期 実績	2021年9月期 予想値	増減額	増減率
売上高	6,841	9,000	+2,158	+31.6%
営業利益	△992	540	+1,532	—
経常利益	△1,135	370	+1,505	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,186	250	+1,436	—

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

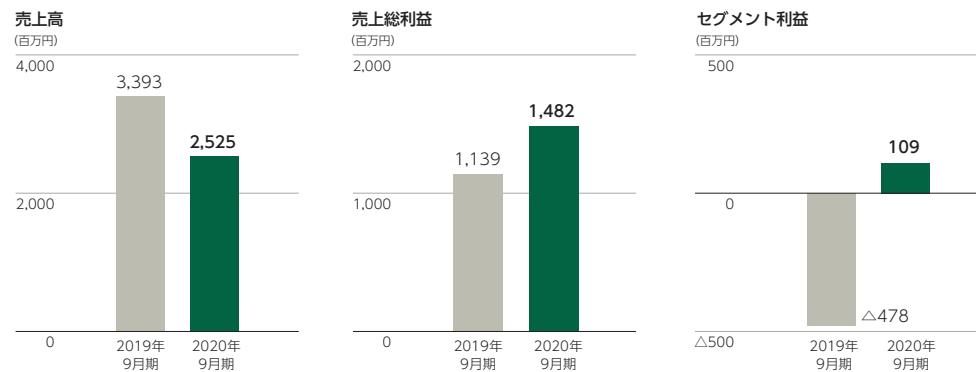
連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位:千円) 科目	2019年9月期末 (2019年9月30日現在)	2020年9月期末 (2020年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	10,438,589	8,803,255
現金及び預金	2,533,187	2,162,069
受取手形及び売掛金	727,499	564,724
営業投資有価証券	1,359,941	1,128,045
営業貸付金	548,625	514,798
販売用不動産	4,211,988	3,999,865
仕掛販売用不動産	700	—
商品	208,577	257,591
その他	947,710	272,878
貸倒引当金	△99,641	△96,718
固定資産	8,586,424	7,780,293
有形固定資産	7,283,853	6,705,906
無形固定資産	724,929	600,756
投資その他の資産	577,641	473,630
資産合計	19,025,014	16,583,548
(負債の部)		
流動負債	3,010,093	2,333,428
支払手形及び買掛金	213,256	109,597
短期借入金	373,904	69,701
1年内返済予定の長期借入金	752,968	615,111
リース債務	215,881	222,578
未払法人税等	98,999	97,250
賞与引当金	157,244	130,666
その他	1,197,838	1,088,523
固定負債	7,141,750	6,945,738
長期借入金	6,086,260	6,125,744
リース債務	807,524	581,872
繰延税金負債	113,189	96,324
退職給付に係る負債	94,633	108,259
その他	40,143	33,536
負債合計	10,151,843	9,279,166
(純資産の部)		
株主資本	7,480,064	6,294,416
資本金	6,461,911	6,462,062
資本剰余金	5,015,924	5,016,132
利益剰余金	△3,997,770	△5,183,778
その他の包括利益累計額	△33,493	△36,213
新株予約権	65,837	64,045
非支配株主持分	1,360,762	982,133
純資産合計	8,873,170	7,304,381
負債・純資産合計	19,025,014	16,583,548

連結損益計算書 (単位:千円) 科目	2019年9月期 (2018年10月1日から 2019年9月30日まで)	2020年9月期 (2019年10月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	9,175,148	6,841,351
売上原価	6,230,430	4,528,162
売上総利益	2,944,717	2,313,189
販売費及び一般管理費	4,609,288	3,306,151
営業損失(△)	△1,664,571	△992,962
営業外収益	11,896	38,487
営業外費用	198,009	180,933
経常損失(△)	△1,850,684	△1,135,408
特別利益	203,367	88,587
特別損失	20,386	397,255
税金等調整前当期純損失(△)	△1,667,703	△1,444,076
法人税等	63,865	69,914
当期純損失(△)	△1,731,569	△1,513,990
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△144,897	△327,983
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,586,671	△1,186,007

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円) 科目	2019年9月期 (2018年10月1日から 2019年9月30日まで)	2020年9月期 (2019年10月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,604,667	680,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,543,561	△282,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,710,304	△767,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,538	△1,285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,441,462	△371,118
現金及び現金同等物の期首残高	3,847,721	2,513,187
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	107,150	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△221	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,513,187	2,142,069

2020年9月期 実績



- プライベートエクイティ投資の取り組みを本格化し、航空機アセットマネジメントも非稼働機体管理受託が増加傾向となったが、投資回収に遅れが生じる。
- 利益面では、前期の減損等の影響がなくなり、販売費及び一般管理費が減少し、黒字化。

今後の戦略: 投資

プライベートエクイティ投資

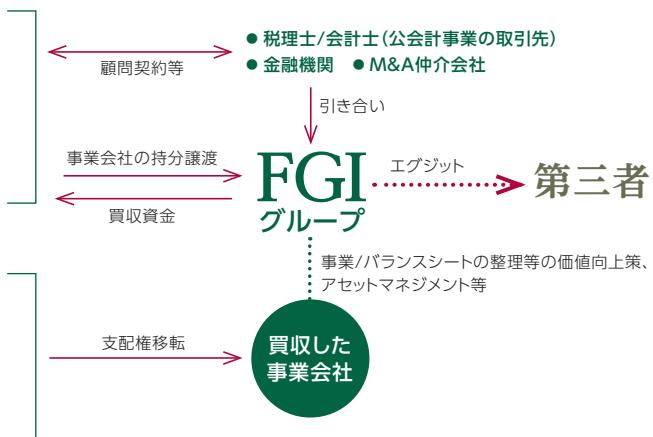
公会計事業の取引先である会計士や金融機関等の既存ネットワークを使い、後継者問題などの課題があるオーナー企業を探索。持分を取得し、事業整理等の施策を講じたうえでエグジット。

オーナー株主

オーナー企業の課題

- 後継者不在
- 相続による株式の分散
- 経営者リタイア後の従業員の雇用確保

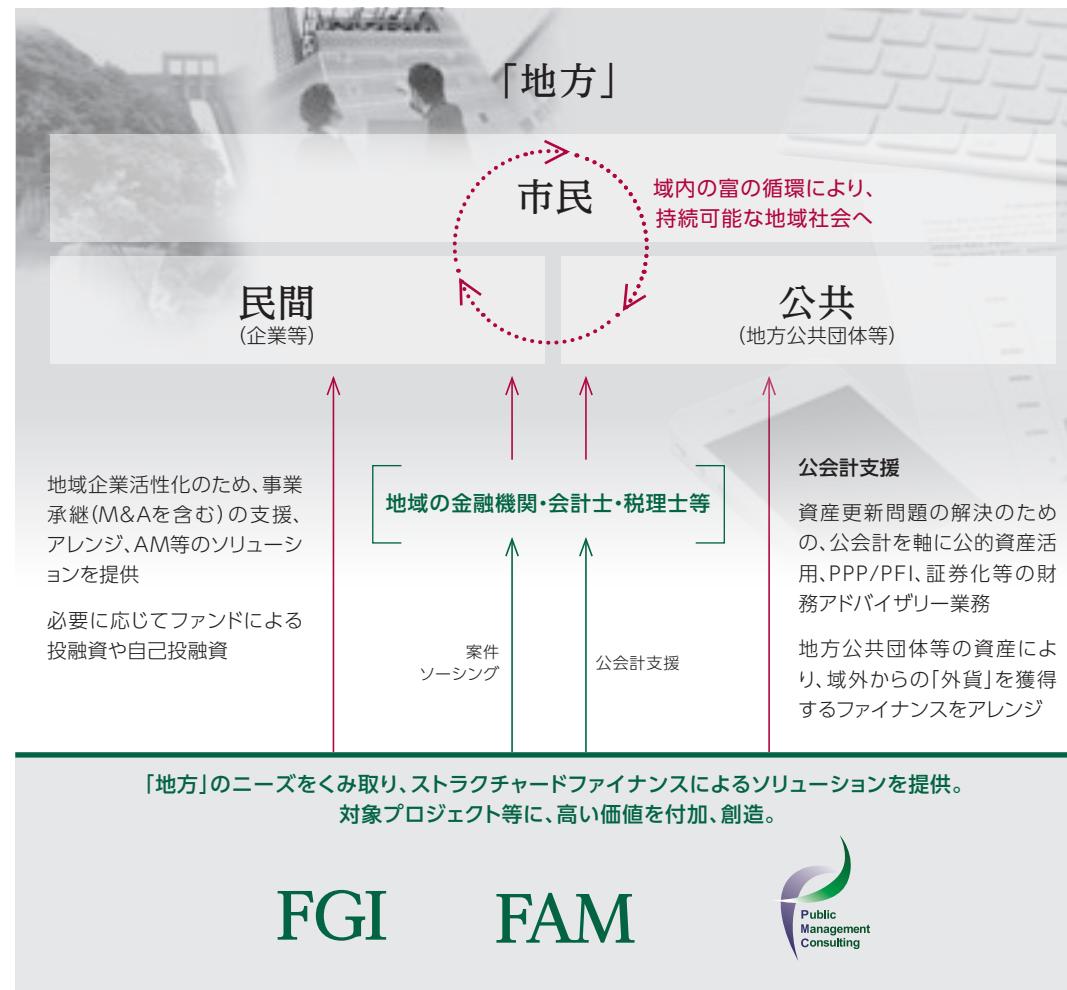
オーナー企業



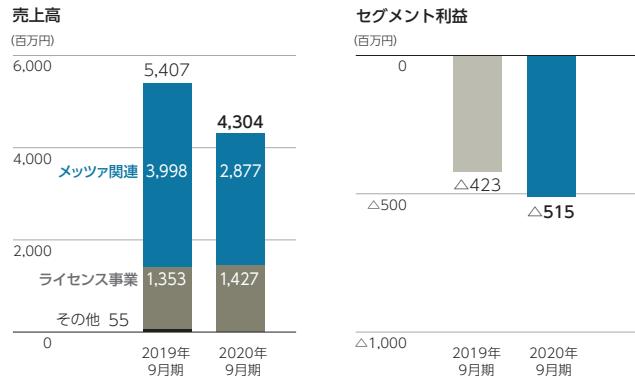
今後の戦略: アレンジメント

「地方」へのソリューション提供

「地方」(民間・公共)に対し、FGIグループ会社が一体化してソリューションを提供。付加価値を創造し、持続可能な地域社会の実現に貢献。

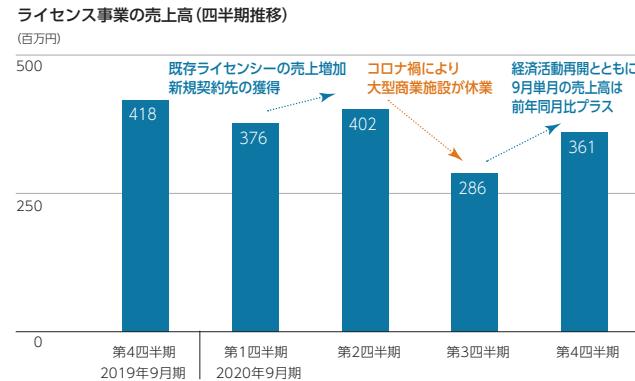
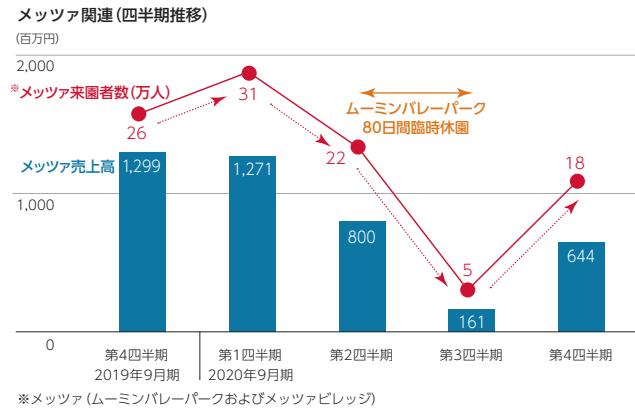


2020年9月期 実績



- メッツァは、2019年11月から顧客満足度を高める施策によって来園者数は増加基調となるも、コロナ禍により臨時休園。営業再開後も来園者数はコロナ禍前の水準を下回って推移し、メッツァ関連の売上高は減少。
- ライセンス事業は、コロナ禍により大型商業施設の休業などの影響を受けたものの、ムーミンのブランド価値向上に伴いライセンスの売上が増加したことなどにより、売上高は増加。

メッツァにおける新型コロナウイルス感染症拡大への対応
来園者数が元の水準に戻るには複数年かかり、特に1年間には大幅な減少が継続すると想定し、コスト削減による収支均衡策や資金繰り対策を実行しました。
運営面では、徹底した感染拡大防止策を施しております。



ソーシャルディスタンスを保ったレジ列や席配置



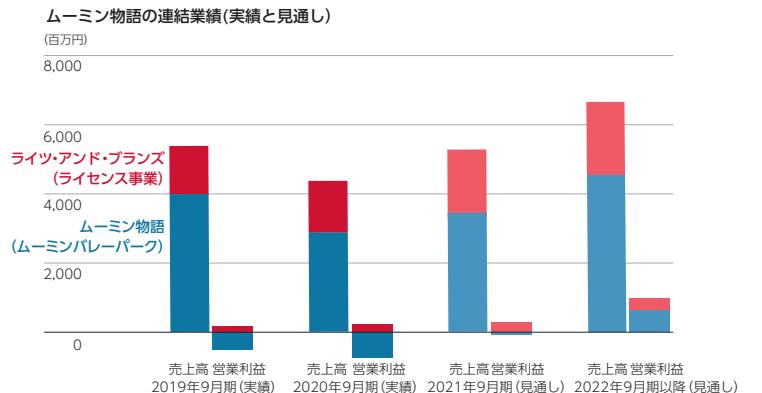
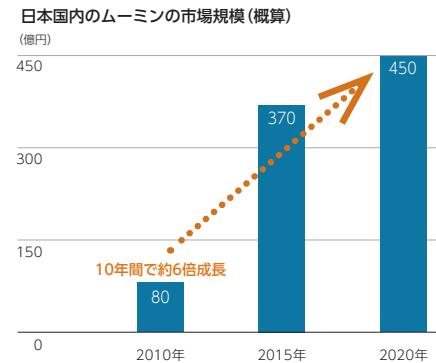
窓等を開放し換気 こまめな清掃、消毒作業等を実施

(株)ムーミン物語の基本戦略

ムーミンバレーパーク運営と子会社(株)ライツ・アンド・ブランドズのライセンス事業を両輪として、ブランド価値向上によりライセンス収入を拡大。



ブランディング施策により、ムーミンの市場規模の拡大とともに業績も拡大。



●ムーミン物語を親会社として、エンタテインメント・サービス事業の各社を連結。
●2021年9月期はFGI連結業績予想に基づく。2022年9月期以降は業績見通しのイメージ。

